

明けましておめでとうございます。

令和5年が始まりました。コロナ禍での新年も3回目になります。来年は収束しているか、下火になっているかと思って、新年を迎えましたが、波のように襲ってくるのが、当たり前のようになってきました。引き続き、学校では、感染対策に注意して活動していこうと思っています。

さて、今年は、卯年です。干支は、十干と十二支を組み合わせたものだと言われています。今年は、癸卯（みずのとう）です。癸は十干の十番目、雨や露、霧など静かで温かい大地を潤す恵みの水を表しています。十干の最後に当たる癸は生命の終わりを表すとともに次の新たな生命が成長し始めている状態を意味しています。揆る（はかる）



という文字の一部であることから、「種子が計ることのできるほどの大きさになり、春の間近でつぼみが花開く直前である。」という意味であるとも言われています。卯は穏やかなウサギの様子から安全、温和の意味があります。また、ウサギのように跳ね上がるという意味があり、卯年は何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ景気回復、好転するよい年になると言われています。また、卯はもともと「茂」という字が由来といわれ、「春の訪れを感じる」という意味、また、卯という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから、「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるとも言われています。株式相場では、「辰巳天井、午尻下がり、未辛抱、申酉騒ぐ、戌は笑い、亥固まる、子は繁栄、丑はつまずき、寅千里を走り、卯は跳ねる」という格言があります。この通り、景気が上向きに跳ねて、回復するといいいのですが。実際に1999年には、株価は高騰したという実績があるそうです。株式市場では、縁起のいい年になりそうです。この癸と卯の組み合わせからこれまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になるそうです。

干支の順番の話は、絵本にもなっていますので、有名です。【神様が「1月1日元旦の朝に挨拶に来た12番目までを毎年交代でリーダーにして仕事をしてもらう。」と言ったことに対し、ウシは自分は足が遅いからと前日から出発をして、到着寸前にウシに乗っていたネズミが飛び出して一番に挨拶したことから最初にネズミ、次にウシという順番になりました。神様の伝言を聞く集まりに参加し忘れていたネコは、ネズミに聞いたところ、1月2日と教えてもらい行ったら、もう終わっており、それ以降ネコはネズミを見ると追いかけるようになりました。】というお話です。と、ここまではよく聞くお話です。ウサギにもお話があり、【ウサギは4番目になりますが、これはウサギの後に続いた動物よりも足が速かったわけではなく、みんなが休憩をしている間もぴょんぴょんと進んでいたことから4番目になりました。】ということです。「ウサギと亀」のお話とは、ちょっと違っていています。果たして、ウサギはどっちなのでしょう。ウサギの名誉のためには、前者でしょうか。

